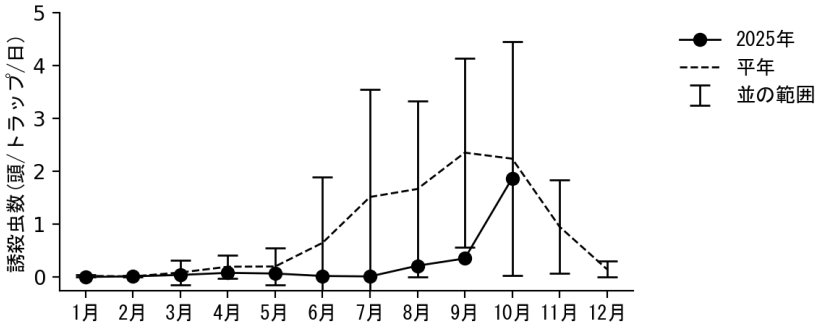
令和　7 年度　11 月予報

作物	マンゴー	地域	沖縄群島
病害虫名	チャノキイロアザミウマ		
調査結果	10 月の発生量（平年比）	並	
予　報	10 月からの増減傾向	↘	
	11 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↘）	

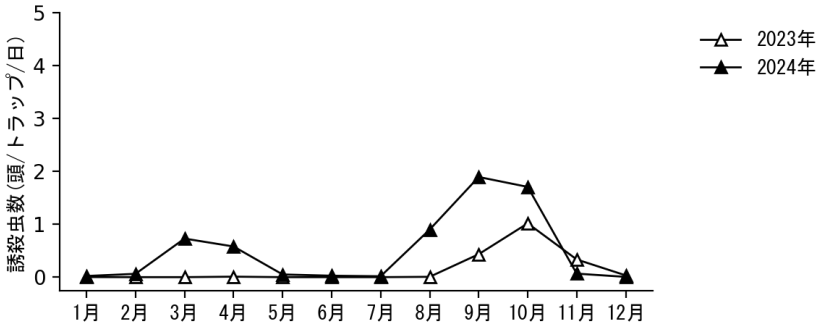
調査結果

トラップ当たり誘殺虫数の推移

＜今期と平年＞



＜過去２年＞



・発生施設率100%（平年：97.5%）

防除のポイント

・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ナガエコミカンソウ

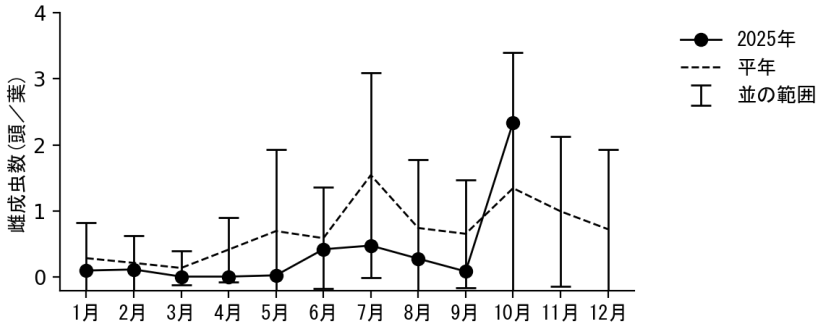
令和　7 年度　11 月予報

作物	マンゴー	地域	沖縄群島
病害虫名	② ハダニ類	シュレイツメハダニ	
調査結果	10 月の発生量（平年比）	並	
予報	10 月からの増減傾向	↘	
	11 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↘）	

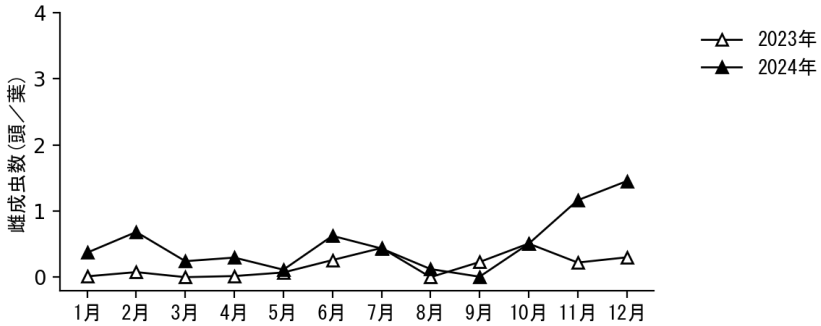
調査結果

雌成虫数の推移

＜今期と平年＞



＜過去２年＞



・発生種：シュレイツメハダニ

・発生施設率40.0%（平年：54.5%）

防除のポイント

・多発すると防除が困難となる。特に収穫時、発生が多くみられた施設では、多発する傾向があるため早期発見・防除に努める。

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

・冬季はマシン油乳剤による防除が効果的である。本薬剤は天敵に影響が少なく、天敵を保護しながらの防除が期待できる。

ハダニの寄生による葉のかすれ症状

マンゴーツメハダニ